2025-12/毎月２５日発行

公成建設株式会社 VOL. 443
安全衛生ニュース

発　行
公成建設㈱安全衛生
協力会事務局
編　集
安全衛生委員会
事　務　局

◆災害における「備え」と「準備」の違い◆

営業部　営業部長　山本　康司

ここ最近は、世界各国や日本でも地震や台風による風水害・林野火災等、いろいろな場所・タイミングで私たち人類に襲い掛かってきています。【備えあれば憂いなし】と昔からよく言いますが、備えや準備は今後本当に大切で、災害時にパニックにならない為に、日頃から心がけましょう。

災害対策において「備え」と「準備」はよく似た言葉ですが、実は意味合いや用途が異なります。それぞれの言葉が指す行動の違いを理解することで、より効果的な災害対策ができます。

「備え」とは

「備え」は、まだ起こるかどうか分からない事態に心を構えたり、対応できるように前もって整えておくことを指します。災害が「いつ」「どこで」起こるか分からないからこそ、普段から対策をしておくことが大切です。

例えば、以下のような行動が「備え」にあたります:

- 大地震に備えて家族で避難場所を決めておく。
- 津波に備えて防災バッグを枕元に置いておく。
- 大雨に備えて家の周りを片付けたり、非常食をストックしたりする。

「準備」とは

一方、「準備」は、必ず起こることが分かっていることや、特定のイベントや活動に向けて必要なものを揃えたり、態勢を整えたりすることを意味します。明確な目的やタイミングに合わせて行われることが多いのが特徴です。

項目	準備	備え
目的	特定の事柄を遂行	不測の事態に備える
焦点	目的達成の為の行動	リスク軽減の為の行動
時間軸	近い将来の事柄が多い	より長期的なリスクも含む
ニュアンス	前向きな行動	予防、防御の側面が強い

災害時に「備え」と「準備」に必要な物の一覧です。ローリングストックなどで、出来るだけ長期保存できるものを選んでおきましょう。

飲料水

１人１日３リットルを目安に、最低３日分（できれば１週間分）を確保しましょう。長期保存が可能な飲料水を選ぶと良いでしょう。

食料品

温めなくても食べられるものや、調理が簡単なものがおすすめです。１人最低３日分（できれば１週間分）が目安です。

- **主食**：温めるだけで食べられるご飯（アルファ米など）、備蓄用パン、ビスケット、乾パン、麺類などが便利です。
- **副食**：肉や魚の缶詰、レトルト食品、栄養補助食品、ドライフルーツ、野菜ジュースなどで栄養バランスを補いましょう。
- **その他**：チョコレートやビスケットなど、ストレス軽減にも役立つお菓子も備蓄しておくと良いですね。

電力と情報源

災害時は停電が起こる可能性が高いため、電力確保と情報収集の手段が必要です。

非常用バッテリー・懐中電灯

スマートフォンの充電や情報収集、SNS での連絡に不可欠です。広範囲を照らせる LED ランタンや、持ち運びやすい懐中電灯も用意しておきましょう。

天災は忘れた頃にやってくる。皆さんもしっかり「備え」と「準備」に心がけましょう！ご安全に！

11 月度合同パトロール

11月13日(土)13:00 より
協 力 会：㈱山栄工務店、ナガタ工業㈱
安衛委員：山本(直)・稲垣・浅見・寺田・清水・松永
以上8名で実施しました。

京都市下京区五条通西洞院西入ル小柳町５１８　　TEL.075-365-8303　　FAX.075-365-8532

『寸評』　安全衛生委員会

11月度の合同パトロールは、土木現場、「桂川大下津地区上流他河道掘削工事」を、安全衛生協力会2名、安全衛生委員会6名の計8名により実施しました。

当日は、曇天の中、『重機災害の防止、交通災害の防止』を主眼に、安全パトロールを行いました。

◆　桂川大下津地区上流他河道掘削工事

当工事は、宮前橋を挟んだ上下流の旧堤防道路の撤去・掘削工事と、その掘削土を宇治川左岸の浸食された横大路地区に盛土し、法覆護岸工により浸食対策をする工事です。

吉田所長は、当日施主打合せにより不在のため、丸山所長より概要・進捗状況説明を受け、重点目標の「重機災害の防止、交通災害の防止」を主眼に安全点検を行いました。当日の作業は、掘削・残土運搬・押土で職員を含め 36 名でした。

工事場所：伏見区淀大下津町～横大路下三栖地先
工　　期：令和7年8月1日～8年2月27日（211日）
発 注 者：近畿地方整備局　淀川河川事務所
工事概要：【大下津地区】：桂川
　　掘削工　54,100m3
　　法覆護岸工（張芝）　2,220m2
　　【横大路地区】：宇治川
　　法覆護岸工（かごマット）　640m2
　　根固め工（捨石）　639m3
出 来 高：4.0%　（10/31現在）
安全成績：労働延時間=2,992時間
　　休業災害0件・不休災害0件。（11/11現在）

≪良好な事項≫

① 安全施工サイクル活動

≪改善・点検を要する事項≫

① 路肩明示を日々の変化に対応
② 一人作業時の緊急対応
③ DT10ｔ運転手への注意喚起

■講評では、運搬作業が続きますので、公道出入口付近の道路清掃と、これから日没が早くなるので、各運転手に交通事故防止の指示・指導の徹底をお願いしました。
■丸山所長からは、「今後もダンプ台数が増えていきますので、ダンプ運転手の皆様には、日々の交通安全に対して、啓発していきたいと思います。」とのコメントでした。

【桂川大下津地区上流他河道掘削工事】

重 点 実 施 例

『宇治川中下流域護岸整備工事』

土木部　土木Ｇ　工事主任　矢谷　和宏

本工事は、久御山町地区と伏見区の三栖地区とに分かれた離れ地の現場であり、イベント等で宇治川を運行する船の船着き場の護岸整備と、それに伴う舗装工事が主な施工となります。

ここで本工事における重点実施例を２つ紹介します。

１つ目は、河川増水に対する対策です。本工事は、出水期も施工可能であり、特に久御山地区では出水期に施工する際は河川の増水に対する避難計画や、天ケ瀬ダムの放流量の管理が必要となります。そこで「重機の避難経路の確認」「水位・放流量の確認及び現場作業員への明示」を行いました。増水時にいち早く対応できるように「注意・警戒水位」と「退避水位」をそれぞれ目視確認できるように水際に丁張を設置しました。また、退避基準を現場事務所に掲示し作業員に周知徹底しました。出水期に何度か増水もあり作業が制限される場面もありましたが、重機・資材等は事前に退避させることができました。

２つ目は、重機災害及び第三者災害です。三栖地区では天端道路や工事用道路を、地域住民や観光客が通行されるので、路肩明示や施工時及び施工後の工事箇所明示

やコーンバーでの通路の封鎖等対策を行いました。

現場作業も残り１か月ほどとなりますが、職員・作業員・第三者の安全を確保し事故が無いように日々作業を行っていきます。ご安全に！

【宇治川中下流域護岸整備工事】

現 場 ニュース

『公共土木施設補修等工事
及び業務委託（西部土木みどり事務所）』

土木部　舗装Ｇ　課長　名越　正揮

本工事は、一昨年前より吉田道路様と地域維持型 JV を構成し工事を行っています。

主な業務内容として、傷んだ道路の維持補修・平日昼間以外の夜間休日応急処理業務・台風や道路陥没等災害時の緊急対応です。夜間休日応急処理業務の近年に出動したデータを振り返ると、R5 年度 138 回・R6 年度 184 回･今年度10月末時点ですでに116回出動しております。

作業内容は、動物の死骸回収・倒木処理・事故処理・冬期には除雪作業もあります。今年は、舗装の剥離や小規模の陥没での出動が多くなっています。今年１月に埼玉県八潮市の下水道管の破損が原因で道路陥没が発生しており、その報道の印象が大きく影響していると思います。また４月には京都市内の五条通で老朽化した水道管から漏水し、道路冠水が発生しています。連日の報道を見れば同じことになるのではないかと、市民の方は不安を感じ少しの陥没を見かけただけで連絡される方が増えたように感じます。

西部土木みどり事務所管内では、R2 年度に国道 162 号で大規模土砂崩れが発生して以降、大きな災害は発生していませんが、いつ何時災害が起きても対応できるよう JV 一丸となって努めていきます。ご安全に！

【公共土木施設補修等工事
及び業務委託（西部土木みどり事務所）】

安 衛 コ ラ ム

『無事故で締めくくる 12 月に』

営業部　課長心得　小泉　佑記

12 月が近づき、いよいよ冬本番の寒さを感じる季節となりました。現場では気温の低下により、手足の動きが鈍くなったり、霜や氷によって足元が滑りやすくなったりと、労働災害のリスクが高まります。特に早朝には、通路や足場の凍結確認を行い、危険箇所を放置しないようにすることが重要です。

また、寒さによる体調不良にも注意が必要です。冷えた体での作業は筋肉の動きが悪くなり、ケガにつながりやすくなります。こまめな休憩と温かい飲み物の摂取、重ね着による体温維持を心がけましょう。

さらに、年末は工期の追い込みで作業が立て込み、気持ちが焦りやすい時期でもあります。「あと少し」「これくらいなら大丈夫」といった油断が、思わぬ事故を招きかねません。忙しい時こそ安全確認を怠らず、落ち着いた作業を心がけることが大切です。

一年の締めくくりである 12 月を無事故･無災害で迎えることが、2026 年への第一歩です。寒さと慌ただしさに負けず、安全第一で乗り越えましょう！ご安全に！

重 点 施 策

『建設業年末年始労働災害防止強調期間』

年末年始は長期の休業前の慌ただしい中での気持ちの焦りや、休業後に気持ちの切換えが追い付かない中で引き起こされる不安全行動など、労働災害防止に特別の配慮が必要です。本年度も 12 月１日から１月 15 日までの間を「建設業年末年始労働災害防止強調期間」とし、

「無事故の歳末　明るい正月」

のスローガンの下に展開されます。経営トップ、店社及び建設現場の管理者等の関係者は緊密な連携を図り、安全衛生水準の一層の向上を目指し、安全衛生活動の強化を図りましょう。

そこで以下の項目について特に確認頂き、当期間中は勿論の事、終了後も年度末に向け、無事故の取組みを引続きお願いします。

１．経営トップ等による現場点検の実施

年末年始における無理のない作業工程への見直し、労働時間の把握と時間外労働の上限規制の遵守、勤務体制の確認。

２．墜落・転落災害の防止

設計段階や計画段階等において、高所作業が不要となる工法の採用など危険有害要因を根本から除去する対策、手すりの設置などの設備面の工学的対策、管理的対策、保護具による対策を順次検討するとともに、フェールセーフ思想に基づいた安全対策の実施。

３．建設機械・クレーン等災害の防止

作業条件に応じた、適切な機械の選定等のリスク低減措置を盛り込んだ、施工計画及び作業計画・作業手順書を作成し、その実施の徹底。

４．倒壊・崩壊災害の防止

建築物等の解体工事は、構造物の事前調査や異常気象を踏まえて、解体工法・作業順序・倒壊防止対策等、リスク低減措置を盛り込んだ施工計画及び作業計画・作業手順書の作成とその実施の徹底。

５．不安全行動による災害の防止

危険軽視の行動を「黙認しない、見逃さない、妥協しない」職場風土づくりの推進。

『　互安全に　』

土木部ガス設備グループ

◆事務局からのお知らせ◆

■　建設業年末年始労働災害防止強調期間

期　　間：12 月 1 日～1 月 15 日

スローガン：「無事故の歳末　明るい正月」

■　安全衛生協力会・委員会合同パトロールの予定

日　時：令和７年 12 月 11 日(木) 13：00～15：30

場　所：未　定

協力会：㈱城東鉄筋･㈱タカダ･河原建設工業㈱

■　安全衛生委員会年末パトロールの予定

日　時：令和７年 12 月 23 日(火)

令和７年 12 月 24 日(水)

■　第 61 回京都府建設業労働災害防止大会

日　時：令和７年 11 月 12 日(水) 13:00～17:00

場　所：ガレリア亀岡コンベンションホール